学校番号	3022

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	3	年次	2
使用教科書	「古典Ｂ　改訂版　古文編」「古典Ｂ　改訂版　漢文編」（大修館書店）						
副教材等	体系古典文法(数研出版)、新明説漢文(尚文出版)、新総合図説国語(東京書籍) 錬成古典(尚文出版)、わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330三訂版(いいずな書店)						

1　担当者からのメッセージ

・古文、漢文の世界に親しみ、当時の人々の感性や考え方に触れながら、自己の考えを深めていきましょう。
・１年次に学習した文法事項や句法・句形を復習し、正しく理解しましょう。
・予習として、音読、意味調べ、現代語訳、文法事項の確認をしてから、授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

・古典に表れている、人間や社会、自然などに対するものの見方や考え方を的確に読み取ることができる。
・古典の文章を通して、自身のものの見方や考え方を広げ、思考力や想像力を伸ばすことができる。
・古典の学習に主体的に取り組むことによって，古典に親しむ態度や、伝統、文化を尊重する態度を育んでいる。
・伝統と文化について十分に理解し，古典への関心を深めることができる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（提出物、ワークシート等）			・記述の確認（提出物、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（提出物、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	様々な古文を読む	伊勢物語 「狩りの使ひ」 枕草子 「二月つごもりごろに」 更級日記 「源氏の五十余巻」	○			◎	○	a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e. 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	様々な漢文を読む	故事と逸話 「塞翁馬」 文章 「春夜宴桃李園序(李白)」	○			◎	○	a. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。 d. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e. 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	古文の物語を読む	大鏡 「雲林院の菩提講」 「花山院の出家」	○			◎	○	a. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	様々な漢文を読む	文章 「桃花源記(陶潜)」	○			◎	○	a. 文章の内容とその背後にある作者の主張を的確に捉え、作品の表現の巧みさを理解しようとしている。 d. 文章の内容とその背後にある作者の主張を的確に捉え、作品の表現の巧みさを理解して e. 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
2学期	古文の物語を読む	源氏物語 「桐壺（一）」 「若紫」 平家物語 「忠度都落ち」	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e. 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査

2学期	様々な漢文を読む	『史記』本紀 「鴻門の会」 (一)(二) 「項王の最期」 (一)(二)	○			◎	○	a. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
3学期	様々な古文を読む	蜻蛉日記 「町の小路の女」 源氏物語 「葵」	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	漢文の思想を理解する	思想 「性猶湍水也」孟子 「人之性悪」荀子 「小国寡民」老子 「曳尾於塗中」荘子 「侵官之害」韓非子	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について　a…関心・意欲・態度　b…話す・聞く能力　c…書く能力　d…読む能力　e…知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※ その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）関わる観点には◎を付している。